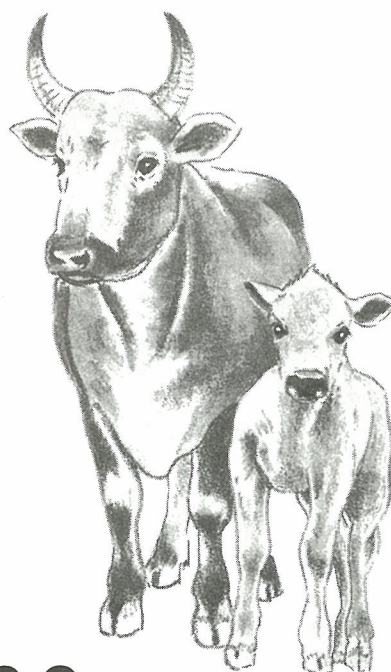
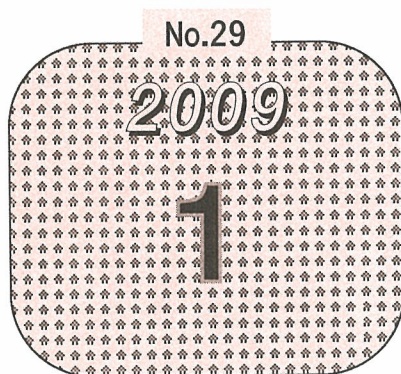




中日本給食だより



2009

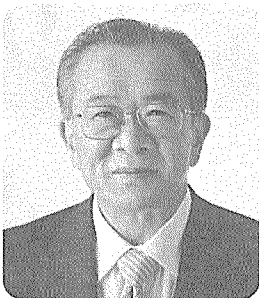


主な内容

- (1面) 干支・丑年のカット
- (2面) 新春を迎えて……………愛知県知事 神田真秋
- (3面) 新年の挨拶……中日本学校給食物流通組合連合会会長 青木昌博
- (4～6面) 新年賀詞（賛助会員・会員）
- (7面) 「牛」に関わることわざ・格言
- (8面) 改定学校給食法が四月から施行

明けましておめでとうございます
本年もよろしく願いいたします

— 中日本学校給食物流通組合連合会 —



新春を迎えて

愛知県知事

神 田 真 秋

あけましておめでとうございます。

昨年は、内外ともに動きの激しい一年でありましたが、県民の皆様方には、県政の推進に格別のご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。しかしながら、会計処理を巡る不適正事案や職員の不祥事により、県政に対する信用を大きく失墜させ、大変申し訳なく存じております。全庁一丸となつて、綱紀粛正の徹底と制度や運用面での改善を図り、本年を信頼回復に向けた再出発の年にしてまいり所存であります。

さて、米国の金融危機に端を発する世界的な景気減速は、百年に一度の危機とも言われ、輸出型産業を中心とする本県の地域経済はその真つ只中におかれています。本県の財政も、企業業績の落ち込みなどにより、かつてないほど深刻な事態に陥ろうとしています。新しい年は、厳しい経済環境の中でスタートしますが、県民の皆様方の叡知を結集し、これを取り越えていけるよう、全力を尽くしてまいります。

まず、県政の基本である、県民の皆様方の安心・安全の確保に向けて、着実に歩を進めていかなければなりません。少子化対策や誰もが安心できる健康・医療・福祉体制の充実に取り組みとともに、治安対策や交通安全、地震防災対策など安全で災害に強い地域づくりをしっかりと推進してまいります。

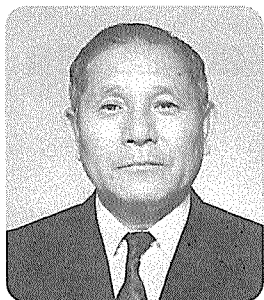
また、愛知の活力の源泉である産業を強化するため、モノづくり技術の共同研究開発の場となる「知の拠点」づくりや、航空宇宙産業などの次世代産業の育成、中小企業支援などを積極的に進めるほか、農林水産業の振興にも力を注いでまいります。

さらには、学校教育の充実や、あいちのモノづくりを支える人材の育成など、未来の愛知を担う人づくりを積極的に進めます。

加えて、愛知万博の理念と成果を継承するCOP10（生物多様性条約第10回締約国会議）や愛知から世界へ向けて新たな芸術を創造・発信するあいちトリエンナーレ2010などいよいよ来年に迫った主要プロジェクトの準備にも拍車をかけてまいります。

今年が、皆様方にとりまして、充実した一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

平成二十一年 元旦



新年の挨拶

中日本学校給食物資流通組合連合会

会長 青木 昌博

新年あけましておめでとうございます。
皆様には、平成二十一年の新春をご清祥のうちにお迎えになられたことと存じ、心よりお慶びを申し上げます。

昨年は「変」の文字がその年を象徴するもの―「今年の漢字」として選ばれましたが、その文字どおり、一昨年からつづく米サブプライムローン問題による金融機関の損失が表面化し、九月に米証券大手リーマン・ブラザーズが破綻したのを発端に米国が経済危機に陥り、それがたちまち世界に波及し、「世界同時不況」の様相となりました。わが国もこの影響を受け、金融機関・企業等の含み資産の減少、アメリカでの消費の失速から自動車、家電製品をはじめとする各業界の不振、そして消費抑制、雇用不安など、世界同時不況の荒立つ波は日本にも大きく襲ってきました。

しかしながら、世界情勢がどうあろうと、景気動向がどうあろうとも、私たちはその中で、お客様の信頼を得て事業を継続していかなければなりません。「ピンチはチャンス」とはよく言われる言葉ですが、この閉塞した状況をポジティブに、前向きにとらえて、この難関を乗り越えていきたいものと思います。

食品業界では、ひところの原料価格の高騰もやや落ち着きを見せるものの、「食の安全・安心」にかかわる問題はなお解決、善処を求められることが多い実情にあります。学校給食におきましても、経済の影響、食の安全性についての影響を受けており、食材の選定、献立作成、調理の工夫など苦労されている現状です。今年四月には改定学校給食法が施行されます。新たな学校給食実施基準、衛生管理基準にもとづき、食育や地場産の関わりなど取り組むべき課題、テーマも山積しております。合理化を図って、民間委託、PFIによるセンター整備など、新しい動きもあるやに聞いております。今、学校給食は何を目指すべきか、何ができるのか―について考えることの必要性が叫ばれております。

こうした中、当連合会におきましては、健全な児童生徒のために日頃ひたすら食育に励んでみえます。栄養教諭・栄養教員の皆様がたと更に密接に連携して、食育への積極的な参加を図るとともに、衛生管理の基準遵守、学校給食物資の安全・安定供給に一層努めてまいりたいと思います。

この一年、皆様方にはご盛業の佳き年であられますこと、また食育に大きな成果を挙げられますことを祈念し、本年も連合会に対して格別なご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶と致します。

平成二十一年 元旦

謹賀新年

2009年 元旦



旧年中はご愛顧を賜りありがとうございました

本年もよろしくお願ひします



株式会社アクシーズ 代表取締役社長 橋野 強 鹿児島市草牟田二丁目一八 TEL(〇九九)二二四一三五五 FAX(〇九九)二二二一六四九四	株式会社アサダ 代表取締役 浅田 嘉行 名古屋市中村区稲西町一八 TEL(〇五二)四一一八一四一 FAX(〇五二)四一一七九七二	エム・シーシー食品株式会社 代表取締役社長 水垣 宏隆 神戸市東灘区深江浜町三二 TEL(〇七八)四五一一四八 FAX(〇七八)四二一一九三六	大島食品工業株式会社 代表取締役 大島 一郎 名古屋守山区小幡南二丁目五 TEL(〇五二)七九五〇〇九一 FAX(〇五二)七九五二二五四四	カゴメ株式会社 名古屋支店 執行役員 支店長 河村 欣児 名古屋市中区錦三丁目十四番十五号 TEL(〇五二)九五一一三五八一 FAX(〇五二)九七一四一〇六
カセイ食品株式会社 名古屋営業所 所長 大矢 利明 名古屋市熱田区新尾頭二丁目七 TEL(〇五二)六八二一五二七 FAX(〇五二)六八二一七〇二九	株式会社加ト吉 名古屋支社 執行役員 名古屋支社長 羽場 淳二 名古屋市中村区並木一丁目二九六 TEL(〇五二)四一一三三三 FAX(〇五二)四一一三三七	株式会社かね貞 代表取締役社長 松原 邦夫 愛知県西加茂郡三好町大字助生 字上永井田四八― TEL(〇五六)三四一七五五〇 FAX(〇五六)三四一七五五一	希望運輸株式会社 代表取締役社長 鶴見 秀明 名古屋市南区丹後通五丁目八番地の一 TEL(〇五二)六二一一二七 FAX(〇五二)六二一一二八〇九	神谷醸造食品株式会社 代表取締役 神谷 啓 豊田市高岡町巾着二番地 TEL(〇五六五)五一三二二 FAX(〇五六五)五一三二二
株式会社 極洋 名古屋支社 支社長 首藤 健治 名古屋市東区東桜一丁目四一三 大信ビル5階 TEL(〇五二)九五五八二五〇 FAX(〇五二)九五五八二五〇	ケンコーマヨネーズ株式会社 名古屋支店 支店長 田崎 英輔 名古屋市名東区一社二丁目一七番三 TEL(〇五二)七〇九一二六〇 FAX(〇五二)七〇九一二六〇	会報・自費出版物・名簿・DTP等各種印刷 株式会社言文社 代表取締役社長 河村 雅彦 名古屋市西区枇杷島二丁目六一五 TEL(〇五二)五八三一四四五 FAX(〇五二)五八三一七五六	コッコ株式会社 代表取締役 竹内 隆之 知多市南柏谷新海二丁目十番地 TEL(〇五六九)四二一一二七 FAX(〇五六九)四二一一二八六	三井住友海上火災保険株式会社 三井住友海上きらめき生命保険株式会社 有限会社 さんゆう 代表取締役 坂本 文一 愛知県海部郡額江町大字蟹新田字百保二一八 TEL(〇五六七)九四一四七七〇 FAX(〇五六七)九四一四七七一

謹賀新年

2009年 元旦



旧年中はご愛顧を賜りありがとうございました

本年もよろしくお願ひします



すぐる食品株式会社 代表取締役 宮崎 勇二 東京都目黒区緑が丘二一七七一 TEL(〇三三)三七八一六三三(代) TEL(〇三三)三七二四一七九三 FAX(〇三三)三七二四一七九三	ISO9001認証取得 大栄食品株式会社 代表取締役 吉村 猛 本社工場 岐阜県羽島郡笠松町門間二二八八 TEL(〇五八)三八八一三六六 FAX(〇五八)三八八一三六六 岐阜工場 岐阜市東鶯二丁目二五番地 TEL(〇五九八)二七六一四五二 FAX(〇五九八)二七六一三七〇二	ティーオー食品株式会社 代表取締役社長 高橋 正則 東京都豊島区南長崎一〇二一四 TEL(〇三三)三九五二一三八一 TEL(〇三三)三九五〇一八六九三 FAX(〇三三)三九五〇一八六九三	天狗缶詰株式会社 代表取締役社長 伊藤 嘉彦 名古屋市中区金山一〇二一四 名古屋市中区金山一〇二一四 TEL(〇五二)三〇〇一五五五 FAX(〇五二)三〇〇一五五五	株式会社ナガノトマト 中部圏支店 支店長 見澤 孝之 名古屋市中区錦三二二一七 TEL(〇五二)九六三一〇二〇一 FAX(〇五二)九六三一〇二〇八
日華油脂株式会社 代表取締役社長 永田 博敏 名古屋営業所 東京都中央区明石町八一 TEL(〇三三)五五五五五五 名古屋市中区錦二一八四九 三井住友銀行名古屋ビル六階 TEL(〇五二)二二九一六八五 FAX(〇五二)二二九一六八五	株式会社 ニッコー 代表取締役 山崎 貞雄 神奈川県大和市代官一〇一〇三 TEL(〇四六)二六九〇二二七 FAX(〇四六)二六九〇二二七	日東ベスト株式会社 代表取締役社長 内田 淳 名古屋支店 名古屋市中区千代田町一七番八号 TEL(〇五二)六八二一七四一 FAX(〇五二)六八二一七四一	日本水産株式会社 名古屋支社 支社長 山下 健一 名古屋市中村区名駅三二二一八 TEL(〇五二)五六一一五三〇 FAX(〇五二)五六一一五三〇	株式会社 富士工芸社 代表取締役 山本 博史 名古屋市中川区吉津五〇八一七 TEL(〇五二)四三二一〇二九 FAX(〇五二)四三二一〇二九
アーモンドフィッシュでおなじみ 株式会社藤沢商事 代表取締役社長 藤沢 貞彦 埼玉県熊谷市間屋町二一五一五 TEL(〇四八)五二四一三三四 FAX(〇四八)五二四一三三四	不二製油株式会社 東京支店 蛋白質食品販売 第一部部長 原田 秀男 東京都港区三田三丁目五番二七号 TEL(〇三三)五四一八一八七二 FAX(〇三三)五四一八一八七二	ホクレン農業協同組合連合会 名古屋支店(JAグループ) 支店長 高橋 秀一 名古屋市中区丸の内二丁目二〇番二五号 TEL(〇五二)二二二一六三三 FAX(〇五二)二二二一六三三	株式会社マメックス 代表取締役社長 葛西 泉 営業本部 名古屋市中川区小碓通五一 TEL(〇五二)六五三一七二一 FAX(〇五二)六五三一七二一 関工場 岐阜県関市倉知三二八五番地の一 TEL(〇五七五)二四一九七七一(代) FAX(〇五七五)二四一九七七一(代)	天然調味料メーカー 株式会社マルハチ村松 代表取締役社長 村松 憲行 静岡県焼津市下江留一〇〇一 TEL(〇五四)六二二一七三七 FAX(〇五四)六二二一七三七

謹賀新年

2009年 元旦

旧年中はご愛顧を賜りありがとうございました

本年もよろしくお願ひします

株式会社マルハニチロ食品 中部支社 支社 長 百目木 隆 晃 名古屋市中区錦三―一―一 十六銀行名古屋ビル十九階 TEL(〇五二)九七二―八〇一 FAX(〇五二)九七二―八〇一	三島食品株式会社 名古屋営業所 所 長 田 中 茂 樹 名古屋市中区枇杷島五―三〇―一 TEL(〇五二)五二四―〇八八 FAX(〇五二)五二四―四五五	明糖油脂工業株式会社 代表取締役社長 小 林 孝 一 茨城県那珂市中台四四〇 TEL(〇二九)二九八―五二一 FAX(〇二九)二九八―五二一	ヤヨイ食品株式会社 代表取締役社長 藤 嶋 照 夫 東京本社 東京都港区芝公園一―八―十二 TEL(〇三)五四〇〇―一五〇〇	理研ビタミン株式会社 名古屋支店 支店 長 清 水 雅 彦 名古屋市中区東横一―三―三〇 TEL(〇五二)九三三―一〇四 FAX(〇五二)九三三―一〇四
株式会社アイケイ 代表取締役 蜂須賀 勝 久 本社 安城市横山町大山田中一六 TEL(〇五六)七二〇―八八 FAX(〇五六)七四一―〇八八	業務用食品取扱 株式会社エディオック 代表取締役 小 出 眞 彰 名古屋市中川区柳川町一五―四 TEL(〇五二)六八二―八六六 FAX(〇五二)六八二―八六六	有限会社中部淡水 代表取締役 水 野 尚 樹 〒四六六―〇五八 名古屋市中区白金一―一―四 TEL FAX(〇五)七八八―〇〇六	株式会社ツルミ企画 代表取締役 鶴 見 佳 利 名古屋市中区鳴海町字諸の木八三―一七六 TEL FAX(〇五)八七二―三二八	株式会社名給 代表取締役社長 青 木 昌 博 名古屋市中区新尾頭二丁目二番六―一 TEL(〇五二)六八一―七三三 FAX(〇五二)六七二―七四四



「牛」に関わることわざ・格言

「食べてすぐ寝ると牛になる」―昔は、食後ちよつとでも横になろうものなら、親からこう注意された思い出を持つ人は多からう。子どものしつけが行き届いていたころの常套句だった。いまは死語にでも成りかねない。

「くらやみから牛を引き出す」(物事の進み具合が極めて遅いこと)というように、牛はとにかく「遅鈍」という印象が強い。

「怠らず行かば千里の末も見ん 牛の歩みのよし遅くとも」

江戸時代の歌人・坂静山もこう詠む。牛のようにゆっくりとした歩みでも、怠ることなく歩き続けるなら、やがては千里先の目的地に着くこともできるだらう……と。

「牛に対して琴を弾(だん)ず」というと、愚かな者に道理を説いても無駄

だ、ということ。こんなことを言うように、人間の牛に対する評価はとかく芳しくない。しかし、こうした格言も今日では少し認識を改めなければならぬよう

だ。畜産で乳牛に妙なる音楽を聞かせると乳の出がよくなるというから、牛も音楽の鑑賞能力があるといえよう。同じ「四つ足」ということで、牛と馬の対比も多い。「鯨飲馬食」というが「牛飲馬食」ともいう。人の交友を表すに「牛は牛づれ馬は馬づれ」と。気持ちや種類が似通つてゐるもの同士は仲が良くて一緒にいる、という意味。「類は友を呼ぶ」と同意でもある。だが、「牛を売って馬をかう」「牛を馬に乗り換える」というのは、劣つたものから優れたものに替えること。どうやら、牛は馬より格下に見られているようだが、これも高級松阪牛と

サラブレッドの競争馬と価値比べをしたらどうなるうか。

組織の中のあり方として、よくいわれるのが「鶏口(けいこう)となるも牛後(ぎゅうご)となるなかれ」。大きな集団の最後についているよりも、小さな集団の頭(かしら)になるほうがよい。大企業に入つたためになかなか出世できず、「歯車」のままで終わる人は多い。一方、中小企業でライバルが少ない中ほとんどん責任ある仕事や役職をまかされる人もある。この卓見は、中国前漢時代の歴史家・司馬遷の「史記」―蘇秦伝からということだが、海外でもこれに類した格言がある。ただし、比喻する動物は様々だ。「ライオンのしっぽより猫の頭がいい」「大きな池の小さな魚より小さな池の大きな魚がいい」と。

経済にかかわって言われるのは、「商いは牛のよだれ」。牛のよだれが少しづつ地に落ちて絶えることがないのと同じように、商売も気長に構えてじっくり行え、ということ。

「商売は牛のよだれ。牛歩のごとく一歩ずつ」というのも同意。

証券市場はこのところ乱高下に振り回されている態だが、相場の格言に牛がよく表現される。

株式相場の動きを表すのに用いられる単語に、ブル(雄牛)とベア(熊)があり、アメリカのウォール街で生まれた相場訓の一つに「ブルもベアも儲けることはできる。しかし、欲張りな儲けられない」とある。

ブルは猛突進してくるような力強いイメージから強気を表し、反対にベアは人の気配を感じるとおっかなびっくりで身を隠すような弱気を表す。「ブルのように強気で買ったがる投資家も、ベアのように弱気で売り急ぐ投資家もそれぞれ自分の投資スタイルを貫き通

してやるから儲けることができる。しかし欲張りな投資家だけは儲けられない」という意味という。

同じ牛と熊の対比でも、「牛は階段をゆっくり上がり、熊は窓から飛び降りる」はマーケットの動きを表す格言である。これは、強気相場の時はゆっくりと市場の値段が上がっていくのに対し、弱気になると窓から飛び降りたような急激な下落となる……と。このところの世界の各取引所で連鎖して起こる株式の暴落、混乱を言い表わすような。

「牛つますき、寅(とら)千里を走り、卯(う)は跳ねる」ともいう。つますいてずっこける時こそ買い場である。寅、卯に向けての絶好の仕かけどきという投機のチャンスを目指す。

このたとえのように、今年の景気はずっこけるか？そして大方が予測するよう

(W)

改定学校給食法が四月から施行

文科省が給食の衛生管理基準を改め 給食の衛生管理をより厳しく

今年四月には、改定学校給食法が施行されます。新たな学校給食実施基準、衛生管理基準にもとづき、給食の衛生管理の一層の徹底、食育や地場産品とのかわりなど、学校給食のあり方に新しい指針が示されます。

文部科学省では、「学校給食衛生管理の基準」を平成九年四月一日制定しました。これは、学校保健法の趣旨を踏まえ、学校給食における衛生管理の徹底を図るための重要事項について示したもので、いわば給食の衛生管理全般についての国のガイドラインとなります。

す。各教育委員会はこれに基づいて安全な給食の実施を努めることが定められています。以来、時宜に応じ

て、平成十五年三月三十一日、同十七年三月三十一日、同十七年三月三十一日と一部改定がされてきました。しかし、近年食の安全性や信頼を損なう不祥事や事故が絶えないため、昨年七月十日にさらに一部改定を行い、各都道府県教育委員会などに通知されました。

この改定では、給食の衛生管理をより一層徹底し、原材料だけでなく、加工食品にまで事前検査の対象を広げたのが特徴となっています。

ます。

これまでの基準では、納入業者に対して、原材料の衛生検査の結果を学校や学校給食センターに提出することを求めています。しかし、今回の改定では、納入業者だけでなくさらに製造業者にもデータ提出を求めることとされました。また、その内容も、原材料から加工食品まで対象が広げられ、衛生検査の結果とともに生産履歴も提出するよう改められました。食品の納入時には、製造業者や生産地、生産ロット番号などを確認し、その点検記録を一年間保存することなども

盛り込まれました。

さらに、輸入品の場合は、輸入元の販売業者の所在地や原材料、保存方法が明らかでないものは使用しないこととなり、「可能な限り、使用原材料の原産国の記述がある食品の選定」をするよう学校などに求められています。

納入検査のチェック項目においても、中国ギョーザ事件を踏まえ、異臭のほか加工食品の包装容器の汚れや破損の有無の確認も新たに要請されています。

また、運営面では次のようになります。

◆検査の方法については、「児童生徒の摂食開始時間の30分前までに、異常があった場合には、給食を中止するとともに、共同調理場の受配校においては、速やかに共同調理場に連絡すること」とされたこと。

◆伝染病・食中毒発生の予防及び発生時の対応は、伝染病・食中毒が集団的に発生した場合のみなら

ず、全国的な影響があり、情報の共有が必要であると判断される「学校給食による健康被害」の集団的発生またはそのおそれがある場合にも文部科学省に報告することとされたこと。

中日本給食だより

2009年 1月号 No. 29

平成21年1月15日発行 単価50円

編集発行人 中日本学校給食物資流通組合連合会
会長 青木昌博

〒456-0018 名古屋市熱田区新尾頭二丁目2番7号
富春ビル4F

TEL (052)682-6219 FAX (052)682-8486